

「大始良中学校の大始良西方棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿屋市立大始良中学校

2 学年・人数

1年生（計12人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年9月～11月 総合的な学習の時間（本校武道館）

令和4年10月31日（月）文化祭りハーサル（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和4年11月2日（水）文化祭（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

大始良西方棒踊り（おおあいらにしかたぼうおどり）

(2) 由来

「大始良西方棒踊り」は、江戸時代に現在の鹿児島市谷山から大始良村に移住してきた多くの方々によって、大始良村の守り神であった岩戸神社の神に五穀豊穰・疫病退治・家内安全を祈念するために始められた。

(3) 構成等

当初は六尺棒だけの踊りだけであったが、時代が移りゆく中で、踊りをおもしろく変化をもたせ、現在では虚無僧を加え、3人が一組となって踊る『虚無僧踊り』と、六尺棒と太刀のスピード感いっぱいの勇壮な踊りの『松島踊り』の2種類の棒踊りがある。

5 保存会や地域との連携の具体

地域に根ざした「郷土教育の充実」の一環として、令和3年度から保存会の方々の協力を得ながら、教育資源として大始良西方棒踊りを伝承し、教育活動として取り組んでいる。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら「大始良西方棒踊り」を継承していくために、総合的な学習の時間の学習内容「郷土学習」に棒踊りを組み込み、文化祭で発表できるように、計画を立てて、継承活動を行っている。

また、地域での保存会メンバーの練習に、教職員も参加して踊りを学び、学校での練習時、保存会メンバーの指導の補助を行った。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【練習風景】



【文化祭での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【1年生生徒】

棒踊りは、とても難しかったがとても楽しかったです。僕は、虚無僧をしました。尺八と刀を使い分けるのが難しく、4番で尺八を持ち替えて刀にするのを忘れていたり、遅れたりしました。また、音楽に合わせて踊る部分で、音楽が速くて、最初はみんな「えっ、もう終わったの?」となってしまいました。しかし、練習すると段々慣れてきて、みんなそろい、より速く踊ることができました。文化祭本番では、衣装を着てみんな心をそろえて、最初とは段違いの踊り子になれました。とても楽しかったので、この郷土芸能を残していきたいです。そして、また踊ったり、たくさんの郷土芸能にも挑戦したりしたいです。

【教職員】

今回、文化祭での披露に向けて、1年生12人で「大始良西方棒踊り」に取り組みました。大始良西方棒踊り保存会の方々が、棒踊りの起源や目的の説明、また実際に踊りながら丁寧にご指導くださいました。生徒と共に棒踊りを体験し、改めて郷土芸能の面白さや魅力について知る、非常に貴重な機会となりました。この魅力ある郷土芸能がこの先も受け継がれるよう、生徒と共に更に深く触れていきたいと思えます。

【保存会から】

大始良中学校の地域伝統文化継承として、大始良西方棒踊りを取り入れていただいて、本当に感謝申し上げます。これまでもお話ししておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、活動ができていなかったのが事実であります。大始良中学校の文化祭で、1年生に踊りを発表してもらうのは、今年で2年目となり、練習指導のご連絡を頂き、大変嬉しく思いました。今年は12人中、女子生徒8人、男子生徒4人が希望をし、本番までの練習も楽しく指導することができました。今後も、生徒たちには地域の伝統文化に触れることで、ふるさと愛を深めてほしいと思えます。